

総務委員会会議録（要点筆記）

令和5年11月1日（水）

午後1時30分 開会

○伊藤正興委員長

ただいまから総務委員会を開会します。

ただいまから協議題1「閉会中の調査事項について」を行います。

先般の行政視察につきましては、委員の皆さまのご協力により、恙なく視察を終えることができました。ありがとうございました。今後、12月定例会に実施する提言（委員会報告）をとりまとめていくこととなりますが、本日は、皆さまから提出いただいた視察報告書についてポイントと、提言に対するご意見など、順にお聞かせいただきたいと思います。

○中村和也委員

機器ばかりに頼らず、人（ボランティア）に頼っている部分もあると感じました。防犯カメラの設置は有効であると感じた中で、すでにある制度、本市で例えると「半田市ドラレコ隊」といった既存の制度を拡充して、安全、安心に繋がる取組みを進めても、と思いました。また、伊丹市が実施しているビーコン発信機を活用した位置情報通知サービスは良いと思いますが、行政が予算を投じて開発から実施していくべきものなのか、と疑問も生じました。同様なサービスを民間業者も開発を進めていることを踏まえると、導入後に民間業者が開発した新しい製品に安易に変更するべきことは難しいと考える為、慎重に審議を要すると感じました。

○麻生七海委員

自治区を巻き込んで取組んでいる自治体、機器を導入して取組んでいる自治体、防犯カメラを設置して取組んでいる自治体など、3自治体とも多様であると思いました。そのような中、財政的なこともあるため、予算を投入するばかりでなく、予算を抑えながらも実施できることにも取組むべきではと思いました。

○新美保博委員

3市とも安心、安全な街をつくらなければならないとの思いから、それぞれがその思いの中で、それぞれの施策に取組み進めていたと感じました。その取組みを本市に活かすことができるのかと考えると、本市も足りない部分もあるとは思いますが、それなりに取組みをしていると思いました。そのため、視察を通じて、この取組みを本市にというべきものを見つけるには至らなかったと感じています。それでは、どうすべきなのかと考えた際に、いずれも犯罪が起きてからの対策となっていますが、根本は犯罪を起こさない市民を増やすことであると思います。まずは、人の物を盗むことはダメであることを教える教育。家庭教育なのか、社会教育なのか、学校教育なのか、ということになりますが、教育が重要ではと思います。教育を行うことで犯罪がゼロになるというものではないですが、犯罪件数を減らすことには繋がるのではと思いました。犯罪件数を減らすことに繋がる手立てがあれば、行政だけが取組めばよいものではなく、また、地域だけで取組めばよいものではないことから、行政や議会、地域が協働して実施していくことが大切であると視察を通して感じました。

○鈴木英華副委員

自動録音機能付き「特殊詐欺対策機器」の取組みは、高齢者が詐欺被害に遭わないための安心感に繋がるため、良いと思いました。また、新たに防犯カメラの設置を検討する際には、現在設置している防犯カメラは SD カードを使用しているとのことであったため、そのデータを取り出す方法のひとつとして、WiFi 機能を活用することを検討することも必要であると思いました。

○石川英之委員

ビーコン発信機については、伊丹市にとっては大変有効であったと感じました。そのため、この方法に近いものを取り入れることができれば、本市も普段からの監視の目が行き届くのではないかと思います。また、岸和田市が実施していたながら見守り活動や、福山市が実施していた防犯機能付き電話機（補助金）については、検討をしても良いかと思います。

○鈴木幸彦委員

岸和田市が実施している「ながら見守り活動」は、お金をかけずにできることと、参加している方を通じて防犯意識が高まるのではないかと感じました。併せて、落書き防止啓発ポスターとして、祭の年番に参加いただき作成している点は面白いと思いました。また、防犯カメラを設置する際には、防犯カメラを設置している旨を記した看板を取り付けることとなりますが、ダミーを多く取り付けても良いのではないかと思います。お金をかけるばかりでなく、また、事件が起きる前の手立てとしての抑止力にこれらはなるのではないかと思います。

○出口久浩防災監

伊丹市は、安全安心なまちづくりへの取組みをシティープロモーションの目玉としていたことは、なかなかできないことであると思いました。また、同時に、この施策が市民の意識調査結果では「住みたいまちとされている市民が 87.6%」「住みやすいまちとされている市民が 86%」と高い数値であったことに驚きを感じたのと同時に、本市も取り入れることができるのであれば、取り入れてみたいと思いました。併せて、防犯カメラを設置後、ネットワーク化することで、故障個所が瞬時にわかることも管理する面では良いと思いました。また、福山市の防犯機能付き電話機について、対象を当初の 65 歳以上のみの世帯から、65 歳以上の市民がいる世帯として対象枠を広げて実施した点は、見習うべき点であると思いました。

○伊藤正興委員長

伊丹市に関しては、防犯カメラの設置台数は多いですが、防犯カメラの設置のみでなく、プラスアルファの取組みが必要とのことから、看板の設置や啓発活動といった取組みをも併せて実施することで、防犯に対する抑止にも繋げている点が印象的でした。岸和田市では、企業を含めた様々な団体と啓発を実施している点が印象的であり、いろいろな実施の仕方があると感じました。中でも落書き防止啓発ポスターの作成は、防犯件数の減少に繋がり、効果が見込まれるならば、地域と自治体が協働して取組んでも良いのではないかと思います。福山市に関しては、特殊詐欺対策として防犯機能付き電話機に対するアンケートを実施したところ、90%以上の方が安心できると回答していることから、なるべく多くの高齢者の方に周知し、広げていくことは効果があると感じたため、導入などについて検討しても良いのではないかと思います。

皆さま、ありがとうございました。

しばらく休憩します。

午後1時48分休憩

午後2時00分再開

○伊藤正興委員長

会議を再開します。

休憩中にご協議いただきました結果、啓発や防犯カメラの設置、防犯機能付き電話機の導入などがキーワードになるのかと感じましたので、委員会報告の素案を正副委員長でたたき台を作成しまして、1月28日に予定されている次回の総務委員会の開催までに委員の皆さまにラインワークスにてご案内させていただきます。委員の皆さまにおかれましては、次回の総務委員会までにお目通しいたき、ご協議したいと思います。

続きまして、協議題2.「その他」を行います。

その他として、委員から何かございませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、この件はこれで終了します。

それでは、次回の委員会は1月28日（火）全員協議会終了後から行いますのでよろしくお願いいたします。

以上で、本日予定いたしました議事は、すべて終了いたしました。

ほかに、何かありましたらお願いします。

ないようですので、本日の委員会はこれにて閉会いたします。

午後2時02分 閉会